

ロディックは
USオープン
3週間前の
トロントマス
大会で背中を痛め
途中棄権した
が、続くシ
ンシナティ
マススターズ
大会で優勝

片やヒュー
イットも
同じ大会
右膝を痛
めた。そ
の後の今
大会では
ジョコビ
チを退け
ガスケラ
準々決勝



第9シード
アンディ・ロディック(米)
VS.
第15シード
レイトン・ヒューイット(豪)



強力サーブを
軸に
アクレシブな
組み立てをする
“攻めの
ロディック”



安定した
ストロークと
足の速さを誇る
“守りの
ヒューイット”



第2セット5-4で
ヒューイットの
うまさが出る



第1セットを6-1で
ロディックが先取した後――

きわめて
好対照な
スタイルだ
が、共に
ケガから
復帰を果
した
両者の対
決は
非常に
興味深
い
もの
がある

ミニブルーク

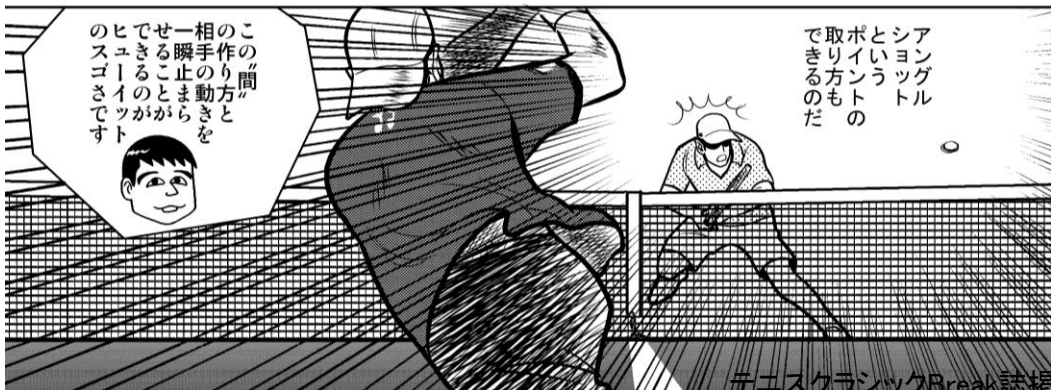
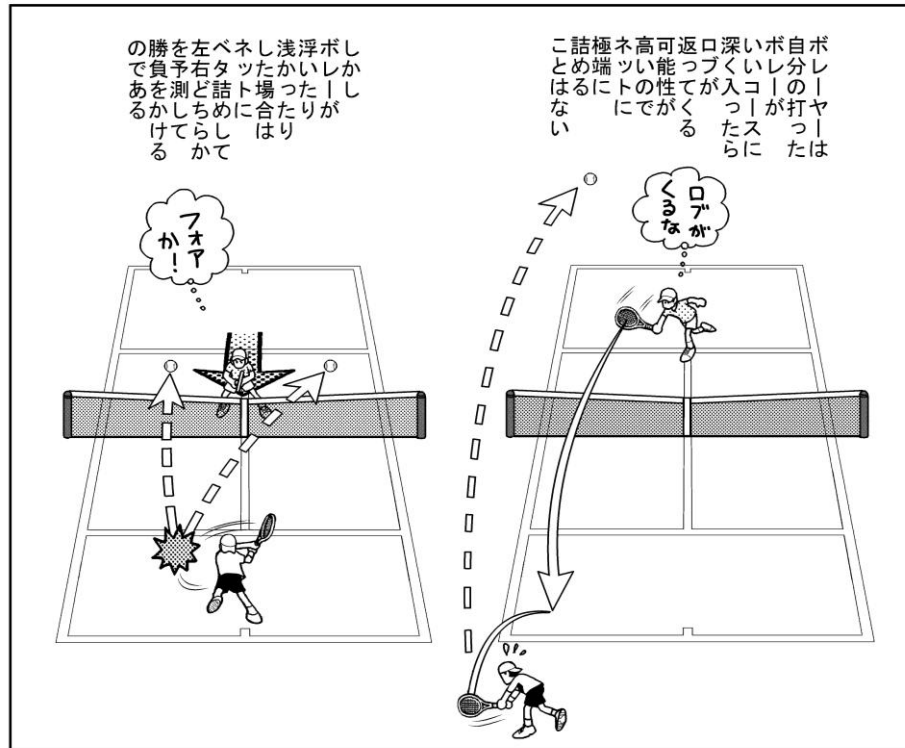
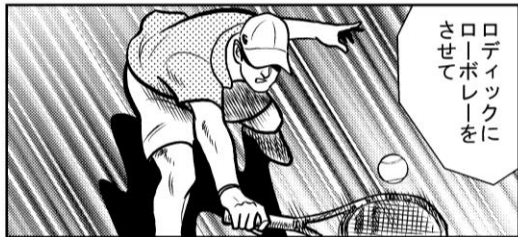
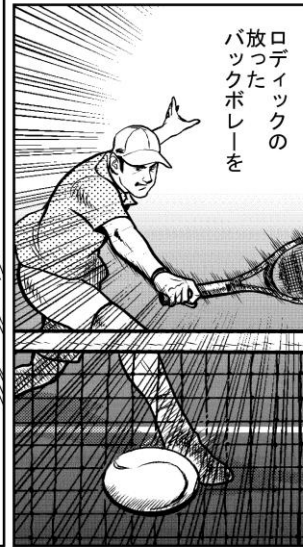
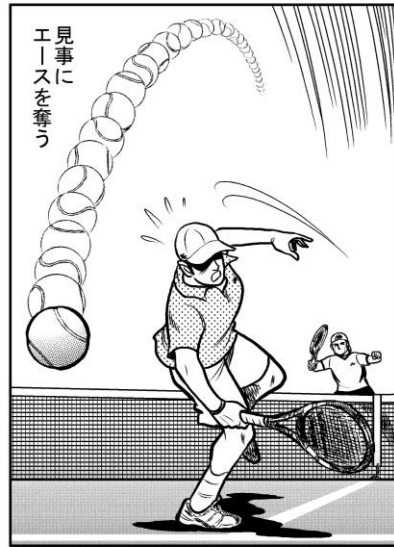
監修・協力 ● 丸山 薫 漫画 ● 石川正順



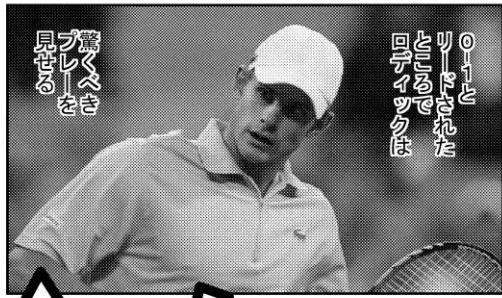
てにバカはある選手がネットに出るたんびにヒューイットにロブで抜かれて



絶妙のタイミングでロブを上げるのである



ポジションを取れるのもだ



驚くべきプレーを見せる

コートリヤされたロケットは

—そして第3セット



持ち味のサーブに加えてストローク力が増したロディックは第2セットも7-5と2セットアップ



その成果はストロークの安定感となつてこの試合の随所に表れる



新コートのコナーズと徹底的にストローク練習をしたのだという

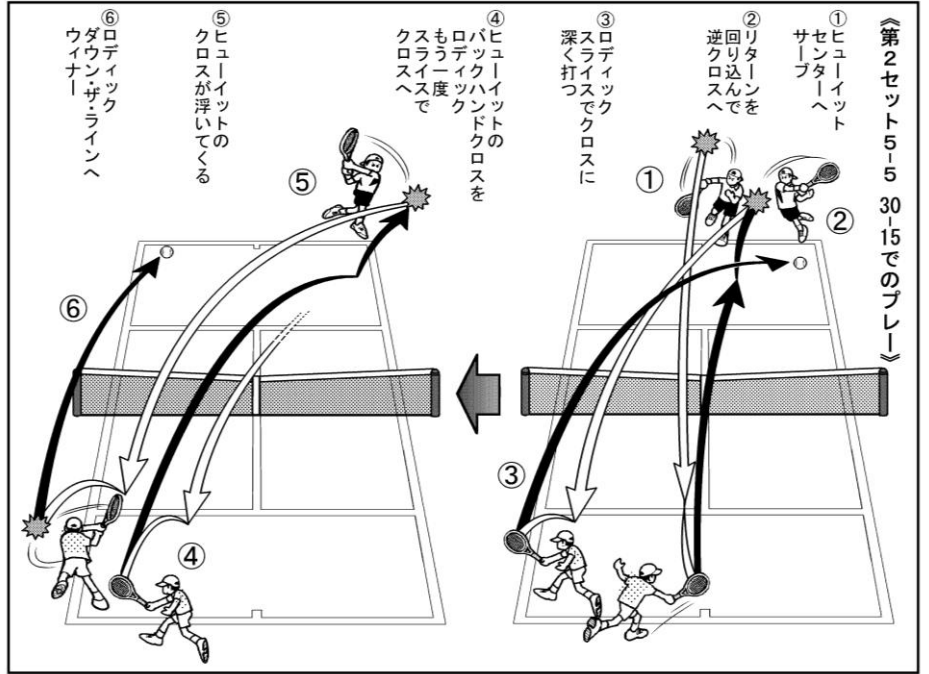


その直後今度はワイドにスピード150kmのキープ!

その緩急の差は実に72km!!



センターへ弾丸サーブを放つてエースを奪い



《第2セット5-5 30-15でのプレー》

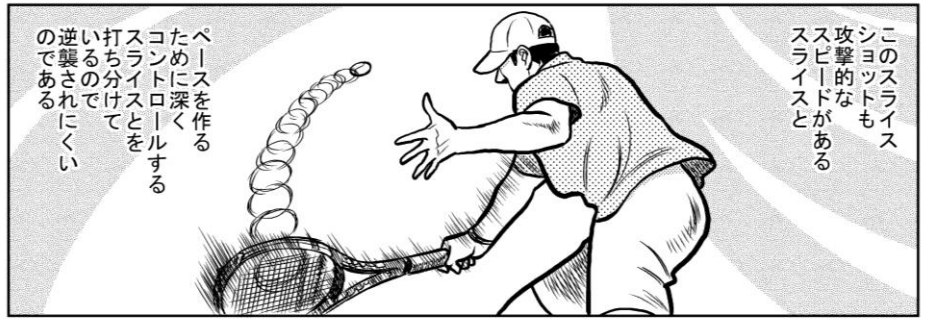


あつしま ウームが

ソレレチャ 夕球出シヤ

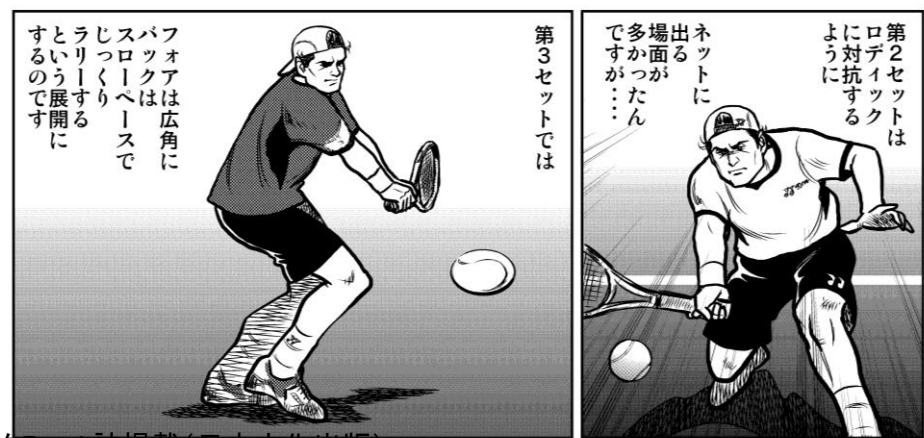
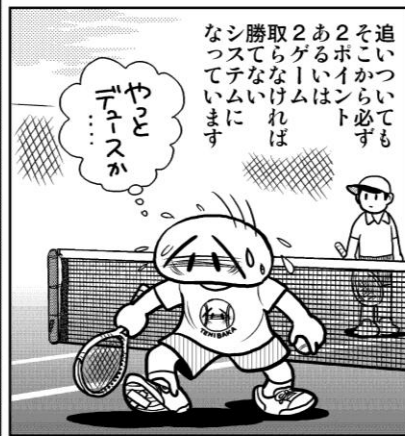
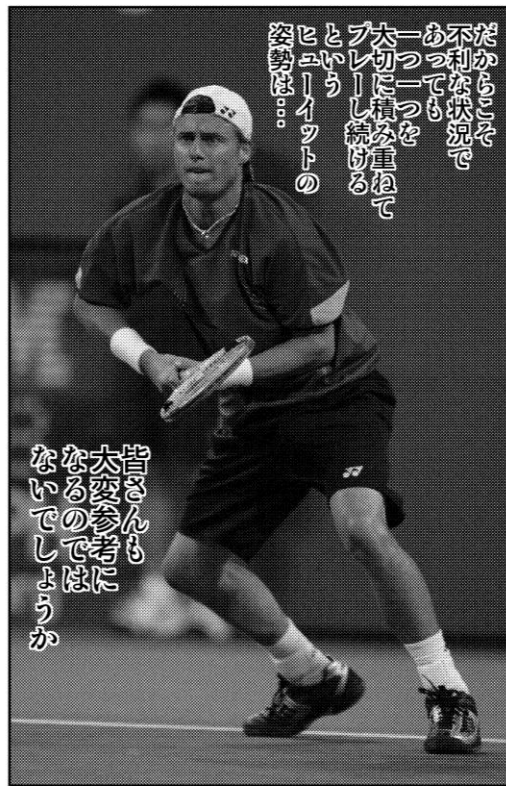
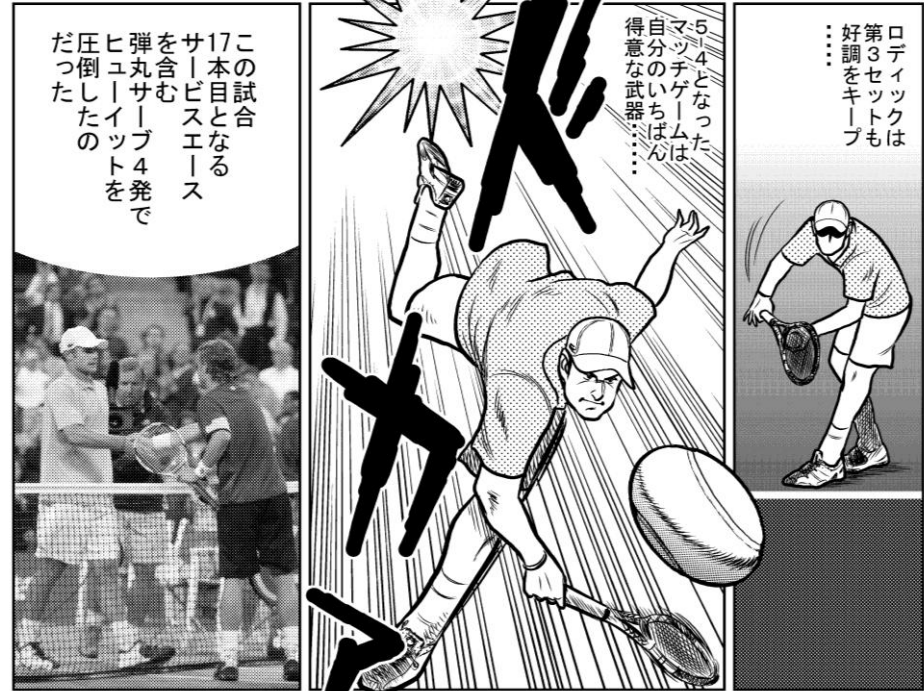


これはどの差を... つかたれると... いかたリターン... ヒューイット... 遅いサーブ... を待ちきれず



ペースを作るために深くスラントスライスを打ち分けて逆襲されにくいのである

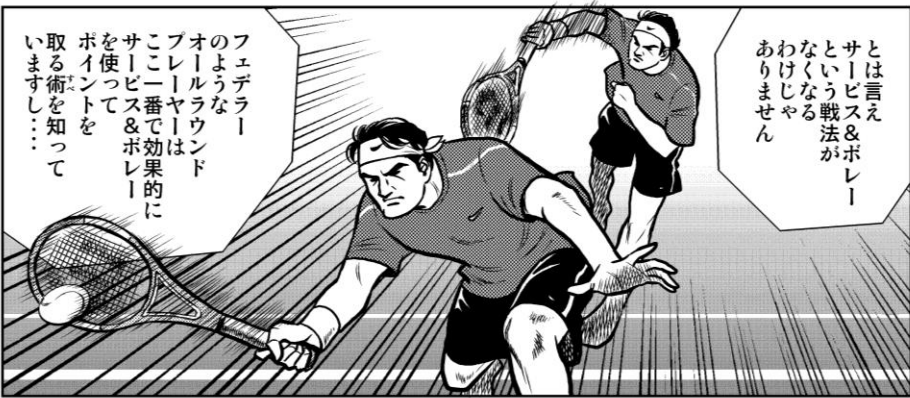
このスライス攻撃的なスライスと



テニスクラシックBreak誌掲載(日本文化出版)
 まんが:いしかわせいぢゅん

スバツと解決このあ

丸山薫の
全部
ホントだよ



フェデラーのようなオールラウンドこそ一番で効果的にサービスマッシュ&ボレーを使っていますし……

とはいえサービスマッシュ&ボレーという戦法がなくなるわけじゃないありません



小さいころからサービスマッシュ&ボレーを好んでる選手が少なくていい



その理由はリターン力が非常に向上していることと減っている選手は減っている

●ロディックはあれだけサーブが速いのにサーブ&ボレーをしませんか
現在のテニスはそういうのいいのですか
「てにバカ」男 / テニス歴30年
28歳 嘘つけ!



コナグズや全盛期にマッケーが現れたように

これからサービスマッシュ&ボレーが出てきて活躍する時代が来ると思っています

現在のテニスとはストロークが飽和状態になってきているので

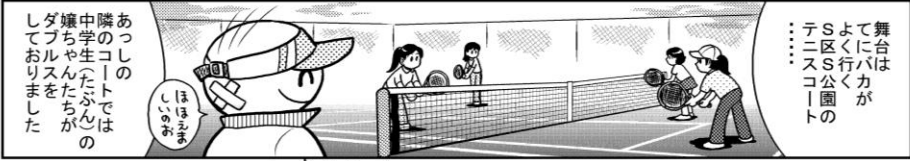
古例イグワ

ところで某日某日こんなことがありました ……



ストロークカレバアップしたので

ロディックもフェデラーも勝つためにサーブ&ボレーを打っていた時期はあります



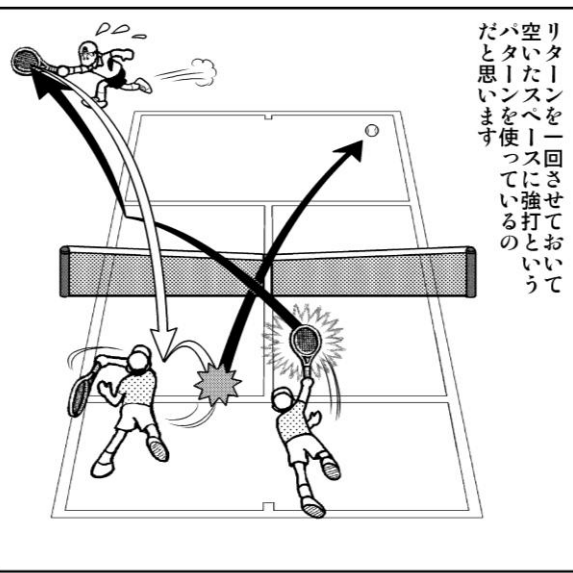
あつしの隣で中学生のタブルスをしておりました

ほほほほ

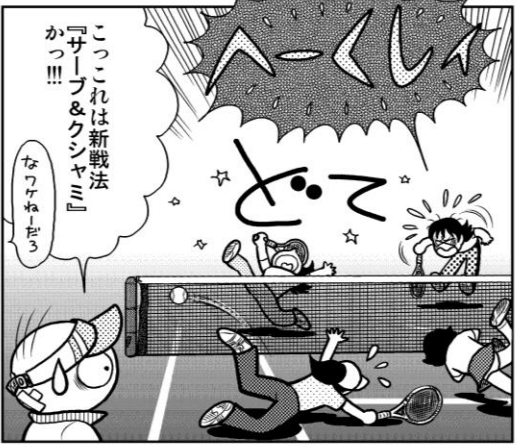
舞台はよく行くS公園のテニスコート



つまりいいリターンを浴びてローボレーをさせられてしまうというリスクを負うよりもサーブのコントロールや緩急を使って相手を追いついていくというほうが確率が高い



リターンを一回させておいて空いたスペースに強打というのだと思います



「サーブ&クシヤミ」かっ!!! なつてねー



そのあとしばらく彼女たちは笑いこぼしてテニスができまへんぞ